

高松市立鬼無小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

認知スキルと非認知スキルの両立て、児童の生きる力を育む

【本校の課題】

○男女とも、多くの学年で握力の値が低く、県・全国平均を下回っている。また、立ち幅跳びの値も、多くの学年が県平均を下回っている。女子に関しては、上体起こしの学校平均が低く、県平均を多くの学年が下回っている。

○積極的に外遊びに取り組む児童もいるが、運動に対する意欲の二極化の傾向が見られる。

【現状】

休み時間には元気よく運動場で遊んでいる児童の姿が見られる。しかし、教室に残っている児童も少なくない。そして、運動場へ出て遊ぼうとしない児童も決まってきている。また、運動場には多くの遊具があり、児童は遊具等で遊んでいる。

【取組】

昼休みの体育館開放

雨天時には、各学年団に体育館開放を割り当てて、運動量の確保に努める。安全確保のため、各学年団1名の教員が必ず児童管理を行うこととする。

ペア学年でなかよし長縄タイム

なかよしタイムにペアグループで楽しみながら長縄に取り組むことで持久力の向上につなげるとともに、他学年との交流を深めることをねらっている。

検定表の実施

なわとびチャレンジ検定表を配布し、体育の授業や休み時間に活用することで跳躍力の向上や意欲的に体力を高めていくことを目的としている。

遊具・アスレチックチャレンジの実施

遊具や遊びを通した体力づくりの情報を発信する。ワークシートを活用し、なかよしタイムや休み時間に実施できるようにして、遊びを通じて体力向上できるようにしたい。

【目標】

- 体力・運動能力テストの各学年平均記録を、全国・県平均より5種目以上で上回ることができる。
- 週2回以上の外遊びを推奨し、自ら進んで運動に親しむ態度や能力を身に付け、友だちやペア学年との交流を通して、励まし認め合いながら、体力の向上に取り組むことができる。